



さとう たつみ
佐藤 辰巳 さん(29歳)

愛宕商事株式会社
新潟市アグリパーク勤務
【出身校】新潟市立下山中学校、新潟
明訓高等学校、拓殖大学国際学部
【趣味】ドライブ、旅行

U
Uターナー



食べることの
喜びと驚きとは？



食べることの喜びや驚きを伝える 農業と食の体験インストラクター

畑から食卓まで。 食の体験を届けるのが仕事

平日は幼児や小・中学生の農業体験学習を指導し、週末は一般の来場者に畑での収穫体験やピザ・アイスクリームなどの調理を教えています。人にものを売る営業の仕事に興味があってこの会社に入りましたが、営業を2年半、その後、体育館のインストラクターを経て今の職場に。実は、大学時代に1年間、北海道で農業研修をしていたことがあり、ここに配属された時は「運命だ」と思いました。

「あきらめない気持ち」が 仕事にも生きている

学生時代は陸上一本。箱根駅伝を目指して大学を選び、陸上部へ。朝5時半に起きてまず10km走り、学校が終わったらまた走る。そんな生活の中で得られたのは、決してあきらめない気持ちです。仕事では失敗もありますが、早く気持ちを切り替えて、楽しんでもらえることをとことん考えたりしています。たとえばアグリパークの魅力をもっとわかりやすく伝えたいと、畑の様子や牛の表情などの動画を撮影し、編集してSNSで発信することを発案して実行しています。再生回数は5～6倍になって手応えがありました。



アグリパークがもっと
注目してもらえるよう
にと、牛の表情を動画
に撮り、SNSにアップ

自分の発想を
どんどん提案
することが大切



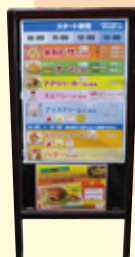
カチカン

喜びを循環させる。 それがやりがいに

食に関わる仕事の魅力は、人に喜びを与えられること。「おいしい」とか「楽しい」とか、喜んでもらえると、自分も楽しくなって元気ももらえます。そうすると、家に帰って家族に元気を与えられる。もっともっと、喜びが循環していくように、お客さんに楽しんでもらえる体験を考えていきたいです。

コラム 食×教育の 工夫

食にまつわるたくさんの
体験活動を開発



新潟の「食」を身近に感じてもらうように、アグリパークではバターやアイスクリームを作ったり、いくとびあイベントでは、即席の「みそ玉」(お湯を入れると味噌汁になる)やふりかけを作ったり。おなじみの食べ物でも、手作りする事で新たな発見があります。